

防コミの歩き方



老若男女 皆が楽しみながら参加する「和田岬校区防災スポーツ大会」

和田岬校区防災福祉コミュニティは、兵庫区の南部に位置し、近年、発生が危惧されている「南海トラフ巨大地震」による津波の浸水想定区域にあたります。そのため平成15年には「和田岬校区津波防災計画」を作成し、その後、津波防災マップ、和田岬校区地域おたすけガイドを作成するなど、災害への備えを強化してきました。

さらに、平成22年度から毎年、運動会と防災を組み合わせた「和田岬校区防災スポーツ大会」を開催しています。

目的

和田岬校区防災スポーツ大会とは、スポーツ感覚で防災を競技に取り入れることにより、子どもからお年寄りまで参加でき、防災に興味を持ってもらい、防災に対する意識を高めることを目指し、実施しています。



内容

従来の防災訓練等で実施されているバケツリレーや水消火器の取り扱い訓練だけでなく、お母さんと子どもがペアになりヘルメットをかぶり、障害物を乗り越えながら

リュックに防災グッズを集めてゴールする競技(みんなで防災訓練)、傷病者を担架で安全な場所に移動させてから三角巾により手当てをし、処置の早さと綺麗さを競う(レディース救助隊出動)など従来の運動会のようなさまざまなプログラムに防災の要素を取り入れ、みんなが参加できるように工夫しています。



また、大会のおわりには、婦人会の皆さんが作った炊き出しのUD(ユニバーサルデザイン)うどん入り豚汁とおにぎりを食べます。

この大会を通じ幼稚園児・小中学生・保護者や地域の方々の交流が深まり、有事の際の協力体制づくりの強化につながっています。

今後に向けて

防災スポーツ大会を繰り返し実施することで、若い世代から高齢の世代までが楽しみながら防災の大切さを学び、そして浸透していくことを期待しています。

(和田岬校区防災福祉コミュニティ委員長 嬉野喜八郎)